

お元気でですか

三菱樹脂OB会だより第十九号

鳥居会長年頭ご挨拶



明けましておめでとうございませう。皆様におかれましては、ご家族ともども良いお年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。旧年中は、多大のご協力を賜り、ありがとうございます。今年もよろしく願い申し上げます。

昨年来、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融危機はますます深刻となり、全世界同時不況の様相となりました。皆様もまずは生活防衛に心掛けておられることと察します。

昨年四月に発足した新三菱樹脂は、吉田社長の下、まずは社員の融和に向けて、着実に進んでいることと期待しております。

去る十一月二十一日に、三菱化学OB会の芝田会長の依頼で、同幹事会にて、三菱樹脂OB会の活動状況を、ありのままに話してきました。ホームページの活用等、参考にされることと存じます。

今年も五月二十二日(金)に予定されている定期総会をはじめ、OB会の各種催しに、多数参加されることを願っています。また、OB会だより、ならびにホームページが、会員各位の情報交換と切磋琢磨に役立つことを願っています。皆様のますますのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とします。

支部総会・懇親会

大阪支部定期総会

平成二十年十一月十三日(木)
 新阪急ホテル「オリンピック」
 参加者二十一名 雨森作仁、宇塚正、岡本益弘、奥田公具、押切繁、加藤龍雄、加藤敏雄、熊倉寛、内藤次生、西本郁夫、能瀬庄一、平井穰、福井久、古川千佳子、松本弘、南博子、山口滋、山口陸雄、山本功、吉田正之(ゲスト) 平野支社長

御年九十歳超の大先輩三人のうち、最長老の加藤敏雄さんご参加のもと、山口支部長の開会挨拶、残念ながら欠席された方の近況報告披露、総会が開始された。

加藤さんご挨拶・乾杯のご発声、平野関西支社長の会社近況報告と続き、懇親が始まる。約三時間が経過し、中締めとなり、次回樹楽会は「源氏物語一〇〇〇年」に因み、「宇治拾芥」ゆかりの地を散策することを確認して散会。二次会は例によって三々五々・・・。(文責は、以降すべて宮下和久)

名古屋支部懇親会

平成二十年十一月八日(土)
 東天紅
 参加者十三名 赤江孝之、池田浩司、伊藤壽、杉田良三、杉原謹吾、高橋恭明、寺西英夫、野村宗男、速水幹男、松浦文雄、円山晋薫、宮内勉、森田明

今回は、十三名が出席。出席者中



最長老の速水さんの音頭で乾杯。今年のお懇談の特徴は、報告された日々の暮らしがなかなか多彩であることでした。愛知県の失語症支援ボランティアの責任者、パソコン教室で活躍、仕事続行、ゴルフ、テニス、囲碁・・・。

その一方、「加齢とのたたかい」やはり健康については、次々と誰もが気にかかる話。さらに、高橋さんのめったに聞けない「相撲甚句」の披露もあって、あつという間に二時間が過ぎました。

九州支部秋季懇親会

平成二十年九月十五、十六日
 玄海ロイヤルホテル
 参加者十七名 安部敏朗、井上雅史、入江勝彦、岩野利生、上野禮一、遠藤信哉、甲斐國紘、川野秀正、川山功治、桑村倬正、柴田弘一、柴田壽一、下山修一、相馬義一、田中一英、和藤隆英、石原支社長



九月十五日、福岡県宗像市「玄海ロイヤルホテル」で、九州支部秋季懇親会が開催された。

岩野さんの乾杯の音頭、石原九州支店長の会社の概況説明の後、酒宴となり、和気藹々のうちに時がたち、二時間半後に懇親会はお開き。宿泊者は、一部屋に集まり、さらにお酒を飲みながら、近況や政治、社会状況などの話に熱中。

翌十六日は、朝食後、解散となったが、ゴルフ好きの八名が参加して、宿泊先から目と鼻の先の「玄海ゴルフコース」で、第四回九州支部ゴルフ会が開催された。

当日は、台風十三号の逆走のお陰で、大方の予想を裏切り、晴天のゴルフ日和になった。

優勝は八九のスコアでまわった柴田寿一さん、準優勝は初参加の上野禮一さんで、新しいドライバーを買って挑戦した相馬会長は、メーカでした。

本年度OB会総会予告

平成二十一年五月二十二日(金)
場所 平塚工場
詳細は後日ご連絡します。

歩こう会

本部第六十一回歩こう会
水上バスに乗る(隅田川)

平成二十年十一月十三日(木)

参加者二十六名 安彦隆、石井弘
石川晃司、伊藤敬輔、岩田幸三、
香川重雄、亀田実、加藤進、神尾
章、木原仁博、近藤久美、榮洋
一、坂本堅一、佐藤勇、佐藤昌二、
塩澤敏行、関口能尚、高橋義衛、
柘植茂、豊田安鴻、中川実信、平
松久、平盛秀正、藤井正敬、松内
俊夫、谷澤元泰

正午、浅草寺雷門前に集合。何
はともあれ、観音様にお参りする。
続いて浅草神社(通称三社様)を
拝し、今日一日の安全を祈願。

続いて、「待乳山聖天(まつちや
ましようでん)」を指す。待乳山
は、昔は見晴らしがよく、浮世絵
に書かれた江戸名所の一つである。
頂きの待乳山聖天(本竜院)浅草
寺の支院)の本尊は大聖歡喜天。
巾着(商売繁盛)と大根(家内健
全)で有名。

続いて、隅田川の堤上を吾妻橋
の水上バス停に向かって遊歩。
十三時三十分、遊覧船に乗船。
展望席にて、両岸の景観を楽しみ
ながら、浜離宮恩賜公園に到着。



鴨場と潮入の池を廻り、六代將軍
家宣のお手植えと伝える「三百年
の松」を背景に、記念撮影。

十五時、これより築地散策。築
地と云えば市場。まず、場内市場
から見学。「波除神社」に立ち寄っ
た後、場外市場を縦断。

続いて、隣接する築地本願寺の
境内を通過、築地川公園に入る。
さらに、佃大橋までいくと橋の
たもとに、「佃島渡船の碑」がある。

正保二年から昭和三十九年まで続
いた最後の渡し場である。佃大橋
の向かいには、NHKの朝ドラ「瞳」
の舞台になった佃島と月島だ。
橋を渡り、佃島側に下り、住吉神
社に出る。神社の裏は舟溜りの堀
堀に架かる赤塗りの佃小橋を渡っ
た処で、散策をお終いとす。

十六時三十分、月島の懇親会場
に到着。宴会が始まるや、一同、
よく食べ、よく飲み、よく喋る。
十八時三十分、長老の坂本堅一
さんの音頭で、無事お開きとなる。

長浜支部第十七回歩こう会
近江八景「瀬田の夕照」、紫式部ゆ
かりの石山寺を歩く

平成二十年十月二十八日(火)
参加者二十名 東正一、足立英
治、磯田智、岩根信次、梶道信、
北川浩生、北村忠衛、木下勝康、
後藤健二、坂上聡、鈴木健治、富
岡秀雄、中嶋清、西川多気夫、西
沢芳朗、西島藤夫、野呂忠章、馬
場智章、森川栄壽、世森幹治

十時にJR石山駅に集合。大津
ボランティアガイドの案内でウオ
ーク開始。琵琶湖マラソンコース
の瀬田川沿いを二・五キロほど歩
き、本日の一番の目的地「石山寺」
に到着。聖武天皇の勅願により開
基、歴朝の尊崇厚い寺院であり、
紫式部が「源氏物語」の構想を練
ったことでも知られる寺である。
「源氏物語千年紀」も開催され
ている。ガイドの案内で、当寺の
由緒、国宝の本堂や多宝塔、数多
くの重要文化財、また石山の名前



の起りでもある桂灰石(石灰岩
の一種)の説明を受ける。

この後、三十分ほどの自由散策
時間の後、表境内の公園にて昼食。
再び、瀬田川沿いを歩き、幾多
の戦陣で名を馳せた「瀬田の唐橋」
をめざす。唐橋は近江八景「瀬田
の夕照」でも知られる。今は、高
層マンションが建ち、残念ながら
夕照の風情はなくなっている。

唐橋を渡り、近くの「龍王宮秀
郷社」へ。平安時代、平将門の乱
を鎮めた藤原秀郷(俵藤太)と瀬
田唐橋の川底にあると伝わる龍宮
の乙姫を祀っている。そこから一
キロほどで近江国一の宮といわれ
る官幣大社「建部大社」へ到着。
御祭神は日本武尊。さらに一キロ
ほどで、「近江国府跡」へ。石碑と
国府跡などの礎石跡に石柱が置か
れ、当時の復元図などにより、律
令時代の県庁跡に思いを馳せた。

この後は、駅近くでの恒例の懇
親反省会へ。軽く一杯で、のどを
潤おし、十六時ごろの電車に乗り、
長浜方面に向った。

大阪支部第三十二回樹楽会
錦秋の宇治散策

平成二十年十一月二十一日(金)
参加者十三名 岩田博、岡本益
弘、奥田公具、押切繁、加藤龍雄、
熊倉寛、中谷昌弘、平井穰、福井
久、南博子、山口滋、山口陸雄、
吉田康子

「源氏物語一〇〇〇年紀」
千年の歴史と文化に育まれた宇
治を歩こう。
やや曇りがちな空模様の下、ま

ずは「源氏物語ミュージアム」へ。
光源氏や源氏物語の終章十帖の
世界が、六条院などの模型や映像
で再現されている。庭には、紅葉
や「ヒカルゲンジ」という花が：



世界遺産「宇治上神社」
平安後期に建立された最古の神
社建築。国宝の本殿には、ご祭神
として応神天皇、仁徳天皇、菟道
稚郎子が祀られている。
神社の裏道を辿っていくと、や
がて大吉山(仏徳山)山頂に至る。
ここで、宇治市街を見渡しなが
ら昼食タイム。

山道を歩き「天ヶ瀬ダム」発電
所へ。続いて、宇治川沿いに下り、
「仏徳山興聖寺」に到着。
道元禅師を開祖とする曹洞宗の
名刹であり、また、紅葉の名所と
して知られている。
「平等院」
朝霧橋を渡り、裏門から入り、
「鳳翔館」を見学。ここには、国
宝・鳳凰、供養菩薩、梵鐘など貴

重なる文物が納められている。世界遺産「鳳凰堂」は、ご存知の通り。「打ち上げ」午後三時頃、宇治駅前のある中華屋で懇親会。ほどほどの疲れをビールで癒し、それぞれのルートで家路についた。

ゴルフ同好会

本部第三十回ゴルフ会

平成二十年十月八日(木)

湘南カントリークラブ

参加者十八名 飯箸弘、神尾章、後藤勲、坂本堅一、佐藤昌二、篠島秀明、菅澤武彦、高橋義衛、中川芳高、長崎英太郎、中野雅明、長嶺英則、西川明夫、西野盛雄、原田浩次、平野博之、平盛秀正、森邦彦

今回は、第三十回の記念大会だったが、あいにくの曇り空、途中小雨も降る中で行われた。久しぶりの五組フルエントリーで予定し



ていたが、急用で二名が不参加となり十八名での大会となった。

優勝は、遠路参加された森邦彦さんが、ネット七七の五オーバーパーで優勝。恒例のパーティーは、和気藹々に大いに盛り上がった。毎回八十歳以上の方も数名参加

されており、年齢、スコアに関係なく、気軽に参加して欲しいと思います。次回は、二十一年五月十四日(木)か十五日(金)を予定。主な入賞者と成績は次のとおり

優勝 森 邦彦
準優勝 原田浩次
第三位 菅澤武彦

長浜支部第三十一回ゴルフ会

平成二十年十月三日(金)

彦根カントリー倶楽部

参加者十五名 岩根信次、尾本光弘、加藤勲、川上由明、神部勇作、小林一好、笹原榮之助、品川泰之、中村民夫、野田和久、野村勝彦、服部重受、藤田稔、松宮正之、山田孝夫

台風十五号の挙動で天候が心配されたが、爽やかな秋晴れ、絶好のゴルフ日和となった。

競技は、恒例のダブルペリア方式とあつて、和気藹々、賑やかにゲームは進化した。

結局、グロス九二ながらハンドレ一・二をもらった藤田氏が初優勝。実力のバロメーターであるベスグロには、常連ベテランをさしおいて、野田和久氏が、グロス八七のスコアでしとめたのは特筆される。十九番ホールは、恒例の社員会館にて、十六時より表彰式・



懇親会を行い、来春の再会を期して十八時三十分、散会した。

大阪支部第十四回ゴルフ会

平成二十年十月六日(月)

神戸パインウッズGC

参加者十名 雨森作仁、宇塚正、岡本益弘、押切繁、小森喜成、平井穰、松本弘、山口滋、山本功、吉田康子

微風快晴の絶好のコンディション



の下、上手組と下手組に分かれスタートした。一組は病癒えたM氏、二組は初参加のO氏を迎え、漫才さながらのラウンドを終え、無事ホールアウト。元気にゴルフができる幸せを噛み締め、次回を約し散会。

成績は、次のとおりでした。
優勝 宇塚 正
準優勝 雨森作仁
第三位 小森喜成

第八回千葉オープンゴルフ会

平成二十年十一月十四日(金)

ザ・カントリークラブグレンモア

参加者十九名 有居晃、石橋正康、春日部嘉三、久保秀雄、古志豪也、酒井正昭、佐藤勇、関口能尚、徳永英之、長崎英太郎、長崎光男、長嶺英則、橋田理、東田浩作、平野博之、森邦彦、安田久雄、山崎勲、山本猛

穏やかな天候の下、第八回千葉オープンゴルフ会を開催。

今回は、とにかく多くの方に参加していただき、ゴルフを通じて旧交を温める場にしたというコンセプトをつくった。暴風雨による二回の延期にもめげず、多くの方に案内状を差し上げた。

コースも、ピート・ダイが設計した戦略性が高い名門で、交通の便がいい「ザ・カントリークラブ・グレンモア」に挑んだ。

一方、運営面では、コースのシニア割引デーに開催し、キャディなしでラウンドを行い、また、アルコールなしで表彰式と懇談を行うなど、年金生活にふさわしい

料金でプレイができるように、節約を行った。

成績は、次のとおり。
優勝 東田浩作
準優勝 山崎 勲
ベスグロ 久保秀雄



テニス同好会

本部地区第十五回テニス会

ダイヤモンドテニスクラブ

参加者十八名 石橋正康、市村義雄、伊藤春生、岡田五郎、駒橋武男、笹本宏昭、関守二、高橋義衛、塚田正昭、土川猛弘、鳥居正義、藤原志朗、堀河勲、三浦修、宮下和久、森俊彦、安田久雄、山本彊

四ゲーム先取のノンアドなしで、全員五試合程度を幹事の好組み合せて行い、ゲーム伯仲、夏場での練習成果を発揮、ロブショットあり、ドロップショットありの好プレイ・珍プレイで汗を流した。終了後の懇親会はクラブのレス

トランで行われ、お互いの近況や
思い出話に話が尽きなかった。



フォトサークル

フォトサークル2000
第三十回撮影会 筑波山

平成二十年十一月十日(月)
参加者七名 青山新太郎、鶴岡英
雄、橋本志眞彦、廣江昭道、柳澤
知男、山本猛、吉井道郎
今回は筑波山へ。男体山、女体
山からなる筑波山は「西の富士、
東の筑波」ともいわれ、日本百名
山のひとつにもあげられている。
十時つくば駅に集合。バスで四十
分、筑波神社入口で降り、急階段
を上がって神社へ詣で、一休みし
て撮影開始。ケーブルカーの宮脇
駅まで紅葉を写しながら登山。
お弁当の昼食を済ませて、そこか
らはケーブルカーで一気に山頂
男体山、御幸ヶ原、女体山と歩
きながら被写体を探す。十四時口

ーブウェイの女体山駅に集合、展
望台から一望の関東平野などを撮
影して、本日は終了。

ロープウェイで山を下り、シャ
トルバスで、つくば駅まで戻って、
懇親会の後、解散。



フォトサークル二〇〇〇、フォト
クラブびわこ合同撮影会

平成二十年十一月二五、二六日
参加者十五名 青山新太郎、石丸
孝、岩井文雄、久保秀雄、鶴岡英
雄、永松啓至、橋本志眞彦、廣江
昭道、福原茂、福原良一、武藤幹
男、柳澤知男、山崎勲、山本猛、
吉井道郎

「フォトクラブびわこ」と「フ
ォトサークル2000」の初の合
同撮影会を、秋の東琵琶湖周辺の
景勝地で行った。
初日十三時に、米原駅西口に集
合。早速四台の車に分乗し、まず
湖岸道路を北へ。隠れた紅葉の名
所の、木之本にある鶏足寺に向か
う。鶏足寺は、彩豊かな紅葉が古

利の参道を中心に見事である。約
一時間撮影し、次の撮影ポイント
の「道の駅」湖北水鳥ステーション
に向かう。この近辺の尾上湖岸
より、琵琶湖夕景を撮影後、初日
の撮影は終了。宿舎のYES長浜
に向かう。十八時頃より懇親会に
入る。お酒が入るにつれ、写真談
義に花が咲く。また、合同作品展
の話や、次回の合同撮影会は、今
秋に、鎌倉の紅葉を中心にした計
画の話も出た。約二時間があつ
という間にすぎ、集合写真を撮影
後、懇親会は終了。

翌二十六日は朝九時に宿舎を出
発。東近江市の東光寺に向かう。
素晴らしい紅葉と静かな古寺の佇
まいの中、好みの場所でシャッタ
ーを切る。一時間ほど撮影の後、
次の撮影ポイント安土の「石の寺
教林坊」に向かう。竹林に囲まれ
た紅葉の素晴らしい庭園である。
十四時半頃まで撮影し、その後、
彦根港に立ち寄り、十六時前に



米原駅に到着。フォトクラブびわ
この皆さんにお礼をいい、名残り
を惜しみつつ帰路につく。

**第九回
OB会作品展のご案内**

会期 平成二十一年二月二十四日
(火) 三月一日(日)
時間 午前十時〜午後六時
(初日は正午から、最終日は午
後四時まで)

場所 神奈川県民ホール第一展示
室 京浜東北線関内駅、石川町駅
より徒歩十五分、みなとみらい線
日本大通り駅から徒歩五分

OB会事務局から

▽会員の状況(十二月末日現在)

全会員数六五三名(本部三六四名
長浜一八八名 大阪四二名 名古屋
屋二六名 九州三三名)

▽訃報

- 井東 政蔵殿 平成二十年八月
二日逝去
 - 渋谷 昶明殿 平成二十年八月
十三日逝去
 - 濱辺 正剛殿 平成二十年八月
二十三日逝去
 - 柴田 栄一殿 平成二十年十月
八日逝去
 - 武内 英之殿 平成二十年十一月
十日逝去
 - 山本 貞生殿 平成二十年十一月
十二日逝去
 - 山本 正治殿 平成二十年十二月
十九日逝去
- 慎んでお悔やみ申し上げます。

発行者：三菱樹脂OB会事務局 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 1-2-2 三菱樹脂ビル
(株)ダイヤサービス東京支店内 担当 矢作 憲三 TEL 03-3279-6472 FAX 03-3279-6750

編集委員

- 加藤 進 TEL/FAX:03-3709-3610 e-mail ssmkato@u01.gate01.com
- 磯田 智 TEL/FAX:0749-65-2281 e-mail satoshi.isoda@nifty.com
- 佐藤 勇 TEL/FAX:03-3756-6264 e-mail isamu310@fiberbit.net
- 宮下和久 TEL:03-3290-0619 FAX:03-3290-0618 e-mail kazuhisa14@jcom.home.ne.jp
- 柘植 茂 TEL/FAX:03-5548-3455 e-mail beetsuge@snow.ocn.ne.jp